

平成 27 年度第 2 回岡崎市美術館運営会議 会議録

1 日時 平成 28 年 1 月 22 日（金）午前 10 時～午前 11 時 00 分

2 場所 市役所西庁舎 7 階 702 号室

3 出席者

(1) 委員 6 名 山下清、太田公典、鈴木章司、清水幹男、天野勝彦、竹本佳子

(2) 事務局 4 名 石川文化芸術部長、堀江美術館長（美術博物館副館長）、杉山副館長、
河合副館長補佐

4 記録

(1) 本記録は発言の概略を記録した。

(2) 本記録は発言者名を省略した。

5 議題

(1) 平成 27 年度事業報告（企画展、美術教室、美術講座）について

ア 事務局説明

- ・配布資料に基づき、企画展、美術教室、美術講座の事業内容について報告した。

イ 委員の意見と結果

（意見）

- ・企画展は、内容が濃い良い展覧会だったと思うが、幅が広すぎて一般にはわかりづらかったのではないかと。もう少しわかりやすくする工夫や解説などがあれば、さらに良くなると思った。

(2) 平成 28 年度事業計画案（企画展）について

ア 事務局説明

- ・配布資料に基づき、平成 28 年度開催予定の美術館自主企画展の概要を説明した。

（意見）

- ・100 年展であるので、100 年前の時代背景なども併せて説明してほしい。当時は、芸術家たちの洋行が増加してきて、芸術が発展してきた時代。また産業の発達とも無縁ではない。このような時代の流れと絡めると視点が変わると思う。

（結果）

- ・事務局案のとおり開催することに決定した。

(3) 平成 28 年度美術館休館について

ア 事務局説明

- ・平成 28 年度に施設保全工事及びエレベーター設置工事等を施工する計画に伴い、後期の 6 ヶ月間を休館とすることを説明、報告した。

イ 委員の意見と結果

（意見）

- ・岡崎の文化と伝統を守るためにも良い作品を収集していくことが重要だと思うが、収蔵庫が不足しているなら東館の倉庫を収蔵庫にできないか。

⇒収蔵庫の問題は美術系3館全体の、また喫緊の課題であると認識している。予算要求はしていくが、すぐには難しいと考えている。

(4) その他

ア 事務局説明

- ・美術館に愛称を公募することを考えている。他の2館と区別するには有効であると考ええる。

イ 委員の意見と結果

(意見)

- ・道路から見てすぐに美術館とわかるシンボルが欲しい。
- ・美術館単独のHPがない。

(5) 連絡事項

次回（平成28年度第1回）の運営会議は平成28年7月下旬（15日または22日）に開催する旨を報告した。